

事業評価個票（事業実施：平成29年度～令和2年度）

（様式1）

事業名	妊娠・出産・子育て安心生活応援事業費					活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
部局名	しあわせ子育て応援部						ようこそ赤ちゃん応援メッセージ・ギフトの被贈呈者数	活動実績	人	5,157	5,422	5,628	5,181		
担当課名	子ども家庭支援課							当初見込み	人	5,000	5,500	5,900	6,200	6,200	
事業開始年度	平成29年度		事業終了(予定)年度		未設定		活動実績								
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱4] 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり [政策5] 総合的な少子化対策の新展開					成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標（所管部局の分析）		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	施策	[施策2] 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり						ようこそ赤ちゃん応援メッセージ・ギフト事業実施市町村数	成果実績	市町村	25	28	30	30	
目標指標	子育て環境満足度		上昇			目標値			市町村	23	27	30	32	32	
事業の目的	妊娠・出産・子育てに対する不安感を解消するため、生まれてくる赤ちゃんと子育て家庭を社会全体で応援するメッセージを贈るとともに、子育て世代包括支援センターの体制充実など妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援を充実する。					達成度		%	109%	104%	100%	94%			
事業概要	①社会全体で生まれてくる赤ちゃん子育て家庭を応援するメッセージを贈呈する市町村への助成 市町村の母子保健コーディネーターが、妊産婦に、応援メッセージカード・子育て支援パンフレット・赤ちゃんギフトを贈呈し、その機会に妊産婦の状況を把握し、支援に結び付ける機会とする事業に要する費用に補助を行う。 【補助基準額】上限3千円 【補助率】県1/2、市町村1/2 ②産後ケア事業の推進 「産後ケア」は、産後の母子への心身のケアや育児サポートを、宿泊・日帰り・訪問で実施する市町村事業で、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制において重要な事業であり、県が個別に市町村や医療機関等を訪問し事業実施に向けて関係者の調整を支援する。 ③子育て世代包括支援センターの中心となる母子保健コーディネーター養成研修の実施等市町村において妊産婦や子育て家庭への相談支援を行う拠点「子育て世代包括支援センター」に配置される保健師等の専門職「母子保健コーディネーター」を対象に、支援体制整備の意義やコーディネーターの役割、相談支援の実務等に関する研修を2回実施する。 ④子育て世代包括支援センターを設置する市町村への助成 「子育て世代包括支援センター」の設置、運営に要する経費に補助を行う。 【補助基準額】人口規模・職員配置により3,000千円～12,509千円 【補助率】国1/3、県1/3、市町村1/3					成果実績									
						目標値									
						達成度	%								
活動指標及び成果指標設定の考え方															
ようこそ赤ちゃん応援メッセージ・ギフト事業の取組状況は、贈呈した件数で明らかになることから、活動指標には「被贈呈者数」を、本事業については、子育て世代包括支援センターの認知度向上や母子保健コーディネーターと妊婦の出会いを支援するものであり事業実施が市町村の支援体制整備に直接寄与することから、成果指標は「実施市町村数」とした。指標の設定水準については、出生数や、市町村の取組みの動向を勘案して設定した。															
事業所管部局による評価・検証（令和3年7月）															
項目										評価		評価に関する説明			
事業の効率性	事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。	A		妊娠・出産・子育てに対する負担感・不安感を解消するため、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整備する必要がある。また、県は市町村の母子保健事業が適正・円滑に行われるように助言や援助を行うこととされている。											
		A		事業の委託先については、見積合せを行い選定している。また、助成については、市町村に1/2ないし1/3の負担をいただいております、妥当である。											
事業の有効性（達成度）	活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。	B		ようこそ赤ちゃん応援メッセージ・ギフトの被贈呈者数は、6,200人の当初見込みに対し5,181人であった。事業を実施していない市町村5か所のうち4か所が、次項目のとおり、同様の事業実施や数年に1回の活用があり、これを含めると5,800人程度の実質的な実績が見込まれ、当初の見込みを達成しているものと評価している。											
		B		ようこそ赤ちゃん応援メッセージ・ギフト事業実施市町村数は、32市町村の目標に対し30市町村であった。事業を実施していない5か所のうち3か所は独自に同様の事業を実施しており、また、1か所はギフトの調達を数年に1回としているため当年度の実績がないものであり、実質的な成果は目標を上回る状況であると評価している。											
事業の効率性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。また、類似の事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	A		母子保健コーディネーターの養成については、母子保健及び人材育成に知見を有する団体に委託して実施した。受講者からの評価が高く、効果的に実施した。											
		A		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。											
事業の有効性（達成度）	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	B													
		B													
課題・改善点	ようこそ赤ちゃん応援メッセージ・ギフト事業により市町村に支援を行ってきた結果、子育て世代包括支援センターの全市町村設置にも貢献することができたものと評価している(令和2年4月1日現在、全市町村設置は全国で7府県のみ)。今後は、産後ケアや産後健診の拡大について市町村・関係団体との検討や調整を進め、安心して妊娠・出産・子育てができる環境整備を進めていく。														
実施方法	■ 直接実施    ■ 委託・請負    ■ 補助    □ 負担    □ 交付    □ 貸付 □ その他 ( )														
	上記実施方法とする理由： 推進方策の検討については直接実施、人材育成など民間のノウハウを活用することが効果的な事業は委託、国庫を活用した市町村事業への支援は補助により実施														
当初予算額 (単位:千円)	費目 (予算見積書グループ名)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
	ようこそ赤ちゃん応援メッセージ・ギフト事業	11,891	10,614	9,542	8,463	7,966									
	産後ケアの推進	474	474	474	417	365									
	母子保健コーディネーターの養成等	1,203	1,203	1,203	1,218	1,218									
	子育て世代包括支援センターを設置する市町村への助成	26,667	37,880	30,281	28,404	28,404									
	多胎妊娠の妊婦健康診査推進事業					59									
財源内訳 (単位:千円)	妊婦の新型コロナ検査費用等補助事業					10,311									
	計	40,235	50,171	41,500	38,502	48,323									
財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	601	601	601	609	5,764									
	県債														
	その他特定財源														
	一般財源	39,634	49,570	40,899	37,893	42,559									
計	40,235	50,171	41,500	38,502	48,323										

(評価基準)

A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:概ね目標どおりの成果、活動見込を概ね達成(80～99%)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(79%以下)

## 妊娠・出産・子育て安心生活応援事業費（新規）

40,235千円

## 目 的

- 妊娠・出産・子育てに対する不安感を解消するため、生まれてくる赤ちゃんとは子育て家庭を社会全体で応援するメッセージを贈るとともに、子育て世代包括支援センターの体制充実など、妊娠期から出産期、子育て期にわたる切れ目のない支援を充実する。

## 事業内容

- ① ようこそ赤ちゃん応援メッセージ・ギフト事業【新規】11,891千円

生まれてくる赤ちゃんとは子育て家庭を社会全体で応援するメッセージ・ギフトを贈呈する市町村に対する助成

- ・ 基準額3千円/子ども1人×補助率1/2
- ・ 贈呈内容

- 1) 応援メッセージカード
- 2) 子育て支援パンフレット
- 3) 赤ちゃんギフト  
(例) ベビー用品・おもちゃ  
・ 地元商店街の商品券等



応援メッセージ  
カード(イメージ)

- ② 産後ケアの推進【新規】 474千円

- ・ 産後ケア実施希望市町村、NPO等で構成する推進会議の開催

- ③ 母子保健コーディネーターの養成等 1,203千円

- ・ 子育て世代包括支援センターの中心となるコーディネーター養成研修の実施
- ・ レベルアップ実務者検討会の開催 等

- ④ 子育て世代包括支援センターの運営支援等【拡充】 26,667千円

## 妊娠・出産・子育て安心生活応援事業費の主な活動実績(R2)について

①	ようこそ赤ちゃん応援メッセージ・ギフト事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会全体で生まれてくる赤ちゃんと子育て家庭を応援するメッセージ・ギフトを贈呈する経費について30市町村に補助金を交付</li> </ul>
②	産後ケア事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定していた産後ケア推進会議は新型コロナウイルス感染症のために中止</li> <li>・産科医療機関への訪問による、市町村と産科医療機関の事業実施に向けた意見交換の実施 1回</li> </ul>
③	母子保健コーディネーターの養成等	<p>山形県保健医療大学に委託して2回実施</p> <p>○2年11月27日(金) 38人参加</p> <p>&lt;主な内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「With コロナの時代にあった支援のスキルを高める」</li> <li>・ワールドカフェ「With コロナの中での切れ目のない育児支援」</li> </ul> <p>○2年12月23日(水)(オンライン開催) 57人開催</p> <p>&lt;主な内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践報告「新型コロナウイルス感染症の中で頑張った切れ目ない支援」</li> <li>・全体討議「With コロナの時代に切れ目なく支援するために」</li> </ul>
④	子育て世代包括支援センターを設置する市町村への助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代包括支援センターに係る設置、運営に要する経費について26市町村に補助金を交付</li> <li>・子育て世代包括支援センターは全市町村に設置されている。</li> </ul>